

公益社団法人 日本船舶海洋工学会  
平成24年度（第117期）事業計画  
（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

平成24年3月16日 理事会承認  
平成24年5月15日 理事会承認

I 調査研究事業

【1】講演会

春秋2回の講演会開催，講演論文集の発行，オーガナイズドセッション，ポスターセッションの実施，また講演会の一部英語化を進める。

1. 平成24年春季講演会

期日：平成24年5月17日，18日

場所：神戸市産業振興センター（神戸市中央区）

2. 平成24年秋季講演会

期日：平成24年11月26日，27日

場所：東京大学柏キャンパス（千葉県柏市）

【2】論文集発行

論文審査委員会による投稿論文の審査を経て下記の論文集を刊行する。

1. 日本船舶海洋工学会論文集 第15号 平成24年6月刊行

2. 日本船舶海洋工学会論文集 第16号 平成24年12月刊行

【3】英文論文集（Journal of Marine Science and Technology）刊行

世界各国からの投稿論文の編集委員会による審査を経て下記の論文集を刊行する（科研費補助事業）。

1. Journal of Marine Science and Technology Vol.17 No.2 平成24年6月刊行

2. Journal of Marine Science and Technology Vol.17 No.3 平成24年9月刊行

3. Journal of Marine Science and Technology Vol.17 No.4 平成24年12月刊行

4. Journal of Marine Science and Technology Vol.18 No.1 平成25年3月刊行

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会の開催

研究企画委員会を年3回開催し，調査研究活動の活性化と企画，シンポジウム等対外的な研究活動を立案する。

2. 研究企画部会の開催

- ・性能・運動分野
- ・構造強度・材料溶接分野
- ・工作分野
- ・設計・艤装分野
- ・海洋工学・海洋環境分野
- ・情報技術分野

3. 研究委員会の開催

(1) プロジェクト研究委員会

P30 次世代船舶を目指した艤装工作法の改善研究委員会

P31 CFDによる船舶の省エネ性能評価研究委員会

P33 船上艤装装置の多様な駆動方式の選定指針に関する研究委員会

P34 船舶操縦性予測モデルの高度化に関する研究委員会

P35 船体構造強度評価のための荷重推定手法の高度化に関する研究委員会

P36 船舶の消火設備設計指針改訂研究委員会

P37 海中システム技術・海洋環境管理技術に関する震災・津波・原発事故の復旧・復興支援と防災に関する研究委員会

(2) ストラテジー研究委員会

S8 海洋環境戦略的管理研究委員会

S10 調和化船体構造規則(H-CSR)研究委員会

S11 我が国の海洋産業に関する戦略検討委員会

4. 研究会の開催

- ・推進性能研究会
- ・運動性能研究会
- ・造船設計・生産技術研究会 造船設計部会
- ・造船設計・生産技術研究会 船体艤装工作部会
- ・造船設計・生産技術研究会 電気艤装部会
- ・造船設計・生産技術研究会 機関艤装部会
- ・材料・溶接研究会
- ・建造革新研究会
- ・海洋工学研究会
- ・海洋環境研究会
- ・情報技術研究会

【5】国際事業

- ・船舶海洋分野に係る有識者会議として，平成24年10月，西部地区にて第2回世界船舶海洋工学フォーラムを開催する。
- ・国際的な海事連携と調査研究のため，以下の国際会議に参加する。

4th World Maritime Technology Congress (WMTC)  
平成24年5月29日～6月1日，於：ロシア

5th Pan-Asian Association of Maritime Engineering Societies (PAAMES)

平成24年12月9日～12日，於：台湾

- ・調査研究に関わる国際的な活動を行うために下記の委員会等を開催する。

JTTC 委員会 船舶性能に関わる調査研究

JSSC 委員会 船体構造と安全性に関わる調査研究

【6】海外共同研究促進事業

国際的な共同研究の強化を目的とし，あわせて研究者・技術者の人材育成のため，海外機関との共同研究を

促進する目的で応募者を募集し、その活動費の一部を補助する。

### 【7】支部活動

#### 1. 東部支部

##### (1) 東部支部構造研究会

船体構造に関する研究発表、動向調査等の研究会を年4回開催する。若手設計者への船体構造基礎知識の普及活動を行う。

##### (2) ワークショップの開催

船舶海洋技術者にとって話題性あるテーマについて、招待講演を含むワークショップを年2回開催する

#### 2. 関西支部

##### (1) シンポジウムの開催

船舶海洋工学、流体力学および構造力学に関するシンポジウムを開催する。

##### (2) KFR（関西船舶海洋流体力学研究会）

船舶流体力学に関する研究講演会を年4回開催する。

##### (3) KSSG（関西船体構造研究会）

船舶および海洋構造物の構造に関する研究集会を年5回実施し、構造に関するシンポジウムを企画する。

##### (4) 特別講演会の開催

期日：平成25年1月

場所：神戸クリスタルホール（神戸市）

#### 3. 西部支部

##### (1) 西部支部構造研究会

船体および海洋構造物の構造に関わる研究会を年3回実施する。

##### (2) 西部支部性能研究会

船舶の性能に関する講演会を1回開催する。

##### (3) シンポジウムの開催

船舶におけるバラスト水処理に関するシンポジウムを開催する。

## II 啓発・広報事業

### 【1】能力開発センター

船舶海洋技術者の能力開発に係る下記の活動を行う。本センターに運営委員会を置き、能力開発に関わる企画、調整を行う。

#### 1. 教科書編纂

平成23年度までに作成した原稿を基に「船舶海洋工学シリーズ」として、船体運動（操縦性能編、耐航性能初級編、同理論編）、船体構造（強度編、応答編）、造船工作法、船体艤装工学、船舶性能設計および海洋開発の9冊を出版し、全12冊のシリーズを完成する。

#### 2. CPDの推進

継続教育（CPD）ポイント構築システムの改善を検討すると共に、他学会との協調を考慮しながらCPDポイント制度の普及に努める。

#### 3. 技術者資格支援

技術士補（技術士第1次）資格取得を支援するため、船舶海洋技術者を対象とした講習会を開催する。

#### 4. 大学教育支援

船舶海洋系大学の教育プログラムのJABEE認定を支

援する。

### 【2】造船技術者社会人教育

日本造船工業会、日本中小型造船工業会と共催し造船技術者社会人教育（第12回）を実施する。

### 【3】海洋教育推進活動

#### 1. 海洋教育推進委員会

##### (1) 委員会の開催

運営委員会、幹事会および支部委員会を開催する。

##### (2) 海洋教育フォーラムと海洋教育セミナーの開催

一般市民を対象に海洋教育フォーラムを開催する。また、主に海洋教育担当者を対象として、海洋教育の事例発表等を主体とした海洋教育セミナーを実施する。

##### (3) 海洋教育に関する広報活動

海洋教育に関連する情報、論文、報告書等を学会誌に掲載する。また、海洋教育コンテンツをホームページに掲載する。さらに一般からの海洋に対する問い合わせ等についても対応する。

##### (4) 海洋教育に関する企画

一般向け海洋教育／実習船を用いた海洋教育の調査／情報発信の改善／教材作成／科学館・博物館との連携／施設・工場見学等の企画を立案し実施する。

#### 2. 青少年啓蒙活動

青少年を対象として下記の出前講義、体験型講義等の提供を行なう。

・夏休みおもしろ船教室

・水中ロボコン（ロボットコンテスト）

・青少年セミナー

#### 3. 一般向講演会

海洋分野に関する国民の知識や理解の向上を図るために、高校生や一般を対象とした講演会を全国各地で開催する。開催する機関は、船舶海洋系9大学を予定している。（日本造船工業会補助事業）

#### 4. 夏の学校

学生、若手研究者、社会人を対象として、運動・性能分野と構造・材料分野の合宿形式の「夏の学校」を2回実施する。

### 【4】会誌発行

下記のとおり学会誌「KANRIN」を発行する。

号	本文頁数	発行年月
第42号	85	平成24年5月
第43号	150	7月
第44号	85	9月
第45号	85	11月
第46号	85	平成25年1月
第47号	85	3月

### 【5】電子情報サービス

・国内外に向けて学会情報発信の推進と情報の管理を行う。

・ホームページの運用と充実を図る。

・会員サイトのコンテンツの充実を図る。

### 【6】学会褒賞

下記の褒賞および推薦を行う。

学会賞（論文賞）

学会賞（発明・考案等）

奨励賞（乾賞）  
船舶海洋技術賞（吉識賞）  
奨学褒章  
名誉会員・功労会員の推薦

【7】シップ・オブ・ザ・イヤー授賞  
シップ・オブ・ザ・イヤー2011応募作品の広報，選考会および表彰式を開催する。

【8】支部活動  
1. 東部支部  
(1) 若手研修・意見交換会  
若手会員の異業種間ネットワーク形成と活性化のため研修・意見交換会等を企画，開催する。

2. 関西支部  
(1) 関西シニア海事研究会  
海事研究・理科教育支援，技術資料の翻訳等を行う。  
(2) 造船資料保存委員会  
造船に関する資料，造船用具等の保存・公開活動を行う。  
(3) 支部長賞表彰  
船舶，海洋工学および海事一般に関して，支部事業に大きく貢献した個人または団体に支部長賞を授与する。

(4) セミナー・講習会  
1) 船舶海洋に関連の深い場所や施設を訪問し，解説および見学を行う。  
2) 大学生を対象に日本の海事産業の歴史と展望に関する講演会を行う。

期日：平成24年12月8日

場所：大阪産業創造館

(5) 海岸清掃  
国際ビーチクリーンアップ活動に参加して，神戸市須磨海岸の清掃を実施するとともに，海岸ゴミの調査活動に協力する。実施予定9月。

(6) 学生会員募集  
学生会員勧誘のための学会紹介パンフレットを製作し，学生会員の拡大を図る。

(7) 若手技術者研修会  
若手技術者を対象として技術力の向上と技術交流を目的とした研修会を年4～5回開催する。

3. 西部支部

(1) 褒賞事業  
船舶海洋工学および海事一般に関して，支部事業に貢献した若手技術者・学生に奨励賞を授与する。

(2) メールマガジンの発行  
西部支部メールマガジンを隔月に発行し，支部所属造船所のトピックス紹介等を行う。

【2】規則の改訂等  
理事会において必要な内規の改定を行う。  
総会において必要な細則の改定を行う。

【3】委員会委員の委嘱  
理事会の議を経て各種委員会委員の委嘱を行う。

【4】会合

1. 定時総会

期日：平成24年6月5日

場所：学士会館（東京都千代田区）

議案：平成23年度事業報告の件

平成23年度決算の件

2. 理事会

理事会を6回開催する。

3. 支部総会等

(1) 東部支部

東部支部総会

期日：平成24年5月10日

場所：日本海事協会東京支部（東京）

運営委員会を年6回開催する。

(2) 関西支部

関西支部総会

期日：平成24年5月25日

場所：三菱重工業神戸造船所（神戸市）

商議委員会を年1回開催する。

運営委員会を年9回開催する。

(3) 西部支部

西部支部総会

期日：平成24年5月8日

場所：九州大学箱崎キャンパス（福岡市）

運営委員会を年4回開催する。

### III 事務

【1】会員管理  
会員の入退会，資格変更等会員情報の維持，管理を行う。